

はじめに

子どもたちの学びの場「学校」が、社会からの信頼を失っています。そして、大人社会と同様に、子どもたちの学校社会の中でも「格差」が広がりつつあるようです。学びたいという動機、学びの実践、学んだ結果としての力、それぞれにおいて高低差は大きくなる一方のようです。これは社会にとっての一大事です。人材を育むスタートポイントが機能せずに、豊かな未来は望めません。

確かにわたしたちは今、時代の変わり目を生きています。激しく変化する渦の中に生きているようなものです。そんな激流の中、まだ自立しきれない子どもたちを放っておくのは危険です。こんな時だからこそ、自律した大人の出番です。未来を展望できる大人の出番です。安心して子どもたちが学べる場、生きる場を、未来を見通して確保することは、今を生きる大人の責任ではないでしょうか。

株式会社ヒューマンルネッサンス研究所（HRI）は、そのような思いから、「未来への学校」をテーマに調査を実施いたしました。学校で、何を学ぶことが必要なのでしょうか？ それは、実現されているのでしょうか？ 学校は、これからも、今までのような学校であり続けるのでしょうか？ これまで、あたりまえとしか思っていなかったことを再考し、多くの声を聞いてみようというわけです。

さらに今回の調査は、HRIの調査パートナーであるスウェーデンの Kairos Future 社との共同調査として実施し、両国間の「学校観」の比較も行うことができました。北欧の国々は、小規模ですが成熟した社会として、さまざまな特徴を持っています。この調査結果でも、興味深い違いが明らかになりました。

この調査結果が、みなさんにとって「未来への学校」を考えるきっかけとなり、次代を担う子どもたちが、しっかり生きていく力を備えるための「学校」に向けて改善が進めばと願うばかりです。共に、未来を拓いていこうではありませんか。

2007年6月

株式会社ヒューマンルネッサンス研究所
社会研究部 部長 中間 真一

◆ 調査概要 ◆

ヒューマンルネッサンス研究所（Human Renaissance Institute : HRI）では、学びの場の未来を展望することを目的とし、スウェーデンの Kairos Future 社と共同でアンケート調査を実施しました。

● 日本

- 調査期間：2006年8月～10月
- 調査方法：郵送調査およびWEB調査
- サンプル数：郵送調査……179サンプル、WEB調査……300サンプル、合計479サンプル

<< 回答者属性およびサンプル数・調査方法 >>

属性	サンプル数	調査方法
学校関係者（小・中・高等学校の教員・校長・副校長）	112	郵送調査
塾・予備校等の教員（フリースクール、塾、予備校の教員）	46	
採用担当者（民間企業・地方公共団体の採用担当者）【※】	21	
保護者（小・中・高校生の子どもを持つ男女）	100	WEB調査
子どものいない男女（子どもを持たない20代・30代男女）	100	
高校生	100	
合計	479	

【※】「採用担当者」はサンプルが少数であるため、結果は参考値としてご覧ください。

＋ スウェーデン

- 調査期間：2006年5月～6月
- 調査方法：WEB調査
- サンプル数：1168サンプル

<< 回答者属性およびサンプル数・調査方法 >>

属性	サンプル数
学校関係者（小・中・高等学校の教員・校長・副校長）	467
保護者（小・中・高校生の子どもを持つ男女）	233
子どものいない男女（子どもを持たない20代・30代男女）	232
高校生	236
合計	1168

※スウェーデンにおける調査は Kairos Future（スウェーデン・ストックホルム市：下記参照）が、日本における調査は、Kairos Future 社による調査を日本語に翻訳し、HRI が実施しました（両国間の教育システム、社会的背景の違いにより、項目の表現は一部異なります）。

KAIROS
FUTURE

Kairos Future AB

P.O. Box 804, SE-101 36 Stockholm, Sweden
Tel. +46-8-545-225-00 / Fax. +46-8-545-225-01
E-mail: info@kairosfuture.com
http://www.kairosfuture.com

（注）本調査における「学校」とは、小学校・中学校・高等学校及びこれらに準じる学校を指すものとします。